



八学大「まず1勝」

全日本大学
女子サッカー

八戸

八戸学院大学女子サッカー部のメンバーがこのほど、八戸市庁に小林眞市長を表敬訪問し、24日に兵庫県三木市で開催する全日本大学女子サッカー選手権への出場報告を行った。

同部は8月から11月にかけて行われた東北地域大学リーグで3勝1敗の成績を挙げ、仙台大に次ぐ2位となり、2年連続2回目の全日本出場を決めた。初戦で敗退した前年の雪辱を期し、24日に愛知東邦大(東海第2代表)と対戦する。市長室を訪ねたのは松山

小林市長(右から4人目)に活躍を誓う八戸学院大学女子サッカー部のメンバー

市長に活躍誓う

政義学長補佐、畑中孝太監督、續橋菜摘主将(21)ら6選手の計8人。畑中監督は「去年よりパワーアップした。まずは初戦を勝ちきりたい」、續橋主将は「粘り強さがチームの持ち味。明

るく、楽しくというスローガンにしっかり勝利をつなげたい」と決意を述べた。メンバーは口々に「去年の悔しさを忘れず初戦を突破する」と誓った。小林市長は「昨年に続く出場おめでとつ。確実に力を付けた結果だと思つ。ぜひ1勝を挙げて記録を塗り替えて」と激励した。(岩村史生)